

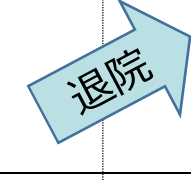



地域リハビリテーションサポート医・推進員の役割

区分	予防	発症	退院	生活
	 <p>地域ケア会議 介護予防教室</p>	 <p>急性期病院 回復期病院</p>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ①住民に地域リハビリテーションの理念を普及 ②かかりつけ医に対する「自立支援」の理念の浸透 ③ケアマネジャーが作成する予防のケアプランにリハビリテーションの視点を導入 ④市町や地域包括支援センターが実施する地域ケア会議や介護予防教室等にリハビリ専門職等の関与 ⑤リハビリ専門職を派遣する仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ①入院時から退院後の生活を見据えた医療関係者と介護関係者との連携が必要 ②退院直後のリハビリテーションの継続 	<ul style="list-style-type: none"> ①訪問リハ、通所リハ等在宅におけるリハビリ提供体制の充実 ②必要なリハビリが提供されていない高齢者の掘り起こし ③地域包括支援センターの困りごとや課題に対する支援 ④介護事業所職員の困りごとや課題に対する支援 ⑤広域支援センターや郡市医師会を中心とした圏域内のリハビリに係る多職種連携 	
サポート医の役割	<ul style="list-style-type: none"> ①地域住民が集まる場（居場所・通いの場等）での講話 <ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命の延伸や介護予防の重要性を啓発 ②郡市医師会が主催する研修会の講師や委員会等への参画 <ul style="list-style-type: none"> ・地域リハビリへの関心を喚起、リハ職等との連携の呼びかけ 主治医意見書の書き方に関する研修会の講師 ・効果的なリハビリの提供につながるための記載のポイントを伝授 ③ケアマネジャー向けの研修会の講師 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の目的である「自立支援」の理念の浸透 ④地域ケア会議への出席 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の予後予測等、医療面からの助言（個別会議） ・地域課題の分析や必要な施策の検討において、医療的立場から助言（推進会議） ⑤リハビリ専門職の派遣の円滑化に向けた取組への協力 <ul style="list-style-type: none"> ・市町や関係機関との協議の場への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ①入院時における病院への適切な診療情報の提供に関するかかりつけ医への働きかけ <ul style="list-style-type: none"> ・退院後の生活を見据えた診療情報提供書の記載のポイントを伝授 ②退院後の継続的なリハビリテーションの提供に向けた病院と在宅医療・介護関係機関との仕組みの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・退院時の情報共有等に係る関係者による協議の場への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ①リハビリ提供体制の充実に向けた取組への協力 <ul style="list-style-type: none"> ・市町や関係機関との協議の場への参加 ②医療につながっていないため必要なリハビリが提供されていない高齢者の診察 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者を発見した地域包括支援センターや市町行政が受診を誘導 疾患別に多くの医療機関を受診し、かかりつけ医の定まっていない高齢者に対する生活機能の改善可能性等の評価 ・対象の高齢者を抱える地域包括支援センターや市町行政が相談 ③地域包括支援センターの困りごとに対する相談・助言 <ul style="list-style-type: none"> ・地域リハビリテーションの総合的なアドバイザーとして、助言 ④地域ケア会議への出席【予防欄再掲】 ⑤広域支援センターが主催する多職種連携研修会等での講師 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養中の患者に対するリハビリ提供におけるかかりつけ医の役割 郡市医師会と広域支援センターの連携促進 ・郡市医師会の会議等における広域支援センター事業の説明や相互の意見交換の場の設定 	
推進員の役割	<ul style="list-style-type: none"> ①地域住民が集まる場（居場所・通いの場等）での講話 <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションの視点から介護予防の必要性を啓発 ②かかりつけ医向け研修会の講師 <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションの実践事例を紹介 ③ケアマネジャー向けの研修会の講師やケース検討会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネリーダーとの連携 ④介護予防教室での運動機能・ADL評価 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な評価の実施 地域ケア個別会議への出席 <ul style="list-style-type: none"> ・QOLの向上や自立支援の視点から助言 ⑤市町担当者との地域リハビリテーションの仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・市町や関係機関との協議の場への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ①入退院支援・連携の在り方について関係者と協議 <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援及びリハビリテーションの視点で関係者と検討会を実施 ②退院後の切れ目のないリハビリテーション提供体制構築に向けての取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーの訪問に同行し生活環境の調整 ・ケアマネジメントの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ①訪問リハサービスの担い手として活動 <ul style="list-style-type: none"> ・病院や老健、診療所のリハビリ専門職（推進員）として活動 ②医療につながっていないため必要なリハビリが提供されていない高齢者の訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター等からの相談への協力 ③地域包括支援センターからの相談に基づく福祉用具、住宅改修、補装具に対する助言 <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じケアマネジャーと同行訪問し、ケアプランに対する助言 ④デイサービスやホームヘルパーに対する助言 <ul style="list-style-type: none"> ・通所や訪問において、自立支援の観点から助言 ⑤広域支援センターが主催する多職種連携研修会等への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・広域支援センターと推進員との相互の意見交換を実施 	